

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	漏斗胸に対する Nuss 手術に関する研究 – Sternal angle index (SAI) と Volumetry	
1. 研究の目的と方法	<p>漏斗胸に対する Nuss 手術は標準治療となりましたが、手術時に挿入するペクタスバーの本数や位置に関しては、いまだ定型的には決まっていません。そこで、本研究では術前に施行している CT を解析することで、ペクタスバーを挿入するための客観的な指標を作成することを目的としています。</p> <p>具体的には今回 SAI という指数を考案しました。これは CT 画像の胸骨角面で胸骨部と最突出部の長さを計測し、SAI を計算します。この SAI の値で、ペクタスバーを頭側方向に入れる方がよいか、入れなくても十分に満足のいく形態になるかを判断します。評価として、CT 解析ソフトで volumetry を行い、胸腔容積を比較していきます。</p>	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 9 月 7 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	<p>研究機関：附属病院</p> <p>対象となる方：漏斗胸の患者さんで、2001 年 8 月から 2019 年 6 月の期間に、東京慈恵会医科大学附属病院で漏斗胸に対する Nuss 手術を施行された方。</p>	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、術前身体所見、既往歴、画像所見（術前および術後）、手術記録（術式、手術時間、出血量、輸血量）、術後合併症情報
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	<p>あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。</p> <p>試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。</p>	
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 外科学講座小児外科 氏名 大橋 伸介
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4) 共同で研究を実施する施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて		<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。</p> <p>情報の利用開始日：2019年9月～</p>
【問い合わせ先】		<p>機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座講座 小児外科 研究責任者：助教 大橋 伸介（おおはし しんすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 9:00 ~ 16:00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。